

倫理審査委員会議事録

日 時 平成25年12月18日 水曜日 13時30分～13時40分
場 所 三重病院外来管理治療棟会議室
出席者 別紙のとおり
議事内容 下記のとおり

(25-45) 小児摂食障害におけるアウトカム尺度の開発に関する研究

申請者（鈴木由紀）久留米大学の多施設共同研究であり、大学での倫理審査は承認されている。摂食障害は若年化して増えてきており、予後評価に必要な因子を抽出して予後に影響を与える因子の解析が目的です。対象者はGSM-5又はGOSCの基準を満たす16歳未満の摂食障害患者であり2年間で200名のエントリーが目標です。初診時、1、3、6、12、24、36ヶ月後の身体機能、精神状態、摂食態度の評価を実施する。

FIRST VISIT SHEET で初診時の一般的な情報を聴取、アウトカム調査表で状態を評価、EHT26 で摂食態度を確認、うつの尺度、自閉症の程度、MINI-KID で精神疾患と診断されたことがあるかどうか、QTA は小学生用と中学生用を用意し、これらで精神状態を評価する。身体機能は一般的な生化学検査を行う。実施期間は平成26年4月から5年間。調査表の患者の氏名は番号により匿名化する。この調査表による評価は初めてなので1月に打合せがあるのでその時に指導を受ける。

委員長 通常の診察結果を大学に集めて解析するということですね。

申請者 はい、今回は精神的な尺度というか、精神状態を示すものが何かないかということで、かなり細かく取らなければいけない。

委員長 これは一度調査すれば良いということですね。

申請者 グループの中でも一度だけでよいのか、精神状態も治療が進につれて変わってくるだろうから毎回取った方はよいという意見もある。そこは研究が始まるまでに決定する。

委員長 発達検査などは一部幾らとかあるが調査表には費用が掛からないのか。

申請者 調査表は許可を得ておりコピーして使い、ファイルメーカーを使用して入力する。

委員長 倫理的には問題はないので承認して宜しいでしょうか。

各委員 承認

—以上—